

議会だより

第171号

令和2年
2月発行

題字：比嘉友那
嘉手納小学校6年



令和元年12月定例会～主な内容～

令和元年 12月定例会 ······ P2~P3

住民懇談会 ······ P4

町政を問う！15名の議員が一般質問 ··· P5

仲村一議員による酒気帯び運転事案 ··· P21

題字紹介・サークル紹介 ······ P22

[嘉手納町議会ホームページ](#)

[嘉手納町議会](#)

検索

町議会を傍聴しましょう！定例会は、3・6・9・12月に開かれます。



嘉手納町食料品加工センターの廃止を可決

12月定例会

令和元年第35回12月定例会を12月10日から18日までの会期で開いた。本定例会では、一般会計及び特別会計補正予算を含む食料品加工センター設置及び管理に関する条例の廃止等、議案16件、陳情3件を可決した。

令和元年12月定例会において「嘉手納町食料品加工センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例」が提案された。

本施設は、平成16年に供用開始され、生活改善グループ、嘉手納町社交飲食業組合や商工会女性部等の活動に利用されてきたが、年々稼働率が低くなつておらず、活用されいふるとは言いがたい状況であつた。

これまで町当局では、チラシの配布や広報誌紙面におけるPR等によりセンターの利活用を促してきたが利用状況は変わらなかつた。利用頻度が上が



Q & A 予算の使途を鋭く切り込む！

Q 子ども医療費助成金264万円補正増の理由は。

A 未熟児養育医療費助成金への21万円流用と、現物給付医療費開始による助成金の増。

Q 学習等供用施設用地買収費が1873万円減の理由は。

A 買収予定地に借地権が設定されており、通常価格より30%程度低額で用地買収ができるため。

会計名

補正額

補正後の予算額

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億3056万8千円	98億5070万3千円
国民健康保険特別会計	8602万7千円	20億596万7千円
後期高齢者医療特別会計	▲88万円	2億6026万2千円
下水道事業特別会計	976万9千円	3億644万7千円

Q 読書通帳機のシステム構築協定を結んだ共同事業なのは。

A 嘉手納町単独のシステム導入事業で、町民を対象にしたサービス。

Q 災害廃棄物処理基本計画策定委託料の減額理由は。

A 沖縄県が実施の災害廃棄物処理計画委託業務へ嘉手納町が参加したことにより、町で計上していた同計画策定のための予算が不用になつたため、補正減。

Q 蓄光避難誘導標識の構造は。

A 蓄光標識は昼間に太陽光を蓄え、夜間自動で光る避難標識。

Q 今回10か所に設置予定。

Q 発達相談員嘱託報酬192万の減額の理由は。

A 臨床心理士、臨床発達心理士を発達相談員として雇用できず減額。臨床発達心理士の日々雇用で対応。

Q 秋田交流学習体験事業35万円の委託料減額の理由は。

A 事業委託料の入札残による減額。

Q 嘉手納中学校屋内運動場照明取替工事518万円減額の理由は。

A 入札に伴う執行残と、計画精査予定価格の変動によるもの。

12月定例会主な議案等一覧

議案等件名	議決等結果
嘉手納町会計年度任用職員の給与に関する条例について	原案可決
嘉手納町民住宅及び嘉手納町再開発住宅指定管理者の指定について	原案可決 (指定管理者株式会社レキオス)
嘉手納町学習等施設指定管理者の指定について	原案可決 (指定管理者かでな振興株式会社)
嘉手納町西浜区コミュニティーセンター（嘉手納町西浜区学習等供用施設）指定管理者の指定について	原案可決 (指定管理者西浜区自治会)
令和元年度比謝川大橋耐震補強修工事変更請負契約について	原案可決 (変更後契約額1億7238万円)
屋良小学校校舎解体工事（1工区）請負契約について	原案可決 (契約額2億581万円)
屋良小学校校舎解体工事（2工区）請負契約について	原案可決 (契約額9529万円)
選挙管理委員の選挙	当選（古謝政則氏、奥間明氏、宮里郁子氏、玉城進氏）
選挙管理委員補充員の選挙	当選（真壁孝氏、多和田和美氏、嶺井未子氏、奥間功二氏）

12月定例会にて 3件の陳情を採択

嘉手納町議会議員政治倫理条例の一部見直し等を求める陳情

「嘉手納町議会政治倫理条例の一部見直し等を求める陳情」は、同条例で「町から補助金等の交付を受け運営している団体の代表者に就任しないこと」と規定されている条文に関する運用の改善等を求め、千原郷友会から提出された。

10回以上審査を重ねた結果、12月定例会本会議にて、求める趣旨は理解できると審査報告があり、採決の結果、全会一致で採択と決定した。

「居宅介護支援事業所の管理者の資格要件に係る経過措置期間延長に関する意見書採択」に関する陳情

「指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準」の一部改正で、居宅介護支援事業所における管理者の要件に関する経過措置期間が令和3年3月31日までの間と定め

この陳情は、40歳未満の若年がん患者が、介護が必要な状態になつたとき、介護事業を利用できるよう支援を行うことを求める内容である。

現在の介護保険制度では、40歳未満の者については介護保険に該当しないため、介護保険の利用はできないが、一部自治体では、このような介護保険から漏れる若年患者の支援を行っている。

陳情では、嘉手納町でも同様に支援を行うよう求められており、提出された陳情の内容について審議し、本会議で採決を行った結果、全会一致で採択と決定した。

られた。

この場合、主任介護支援専門員を確保できないことによる廃業又は休止による事業所の閉鎖が生じ、高齢者に必要な介護サービスが提供できない重大な社会問題の発生が懸念されることから、陳情を採択し、本町議会からも経過措置期間延長を求める意見書を関係機関へ提出した。

若年がん患者の在宅療養支援を求める要請書

この陳情は、40歳未満の若年がん患者が、介護が必要な状態になつたとき、介護事業を利用できるよう支援を行うことを求める内容である。

現在の介護保険制度では、40歳未満の者については介護保険に該当しないが、一部自治体では、このような介護保険から漏れる若年患者の支援を行っている。

陳情では、嘉手納町でも同様に支援を行うよう求められており、提出された陳情の内容について審議し、本会議で採決を行った結果、全会一致で採択と決定した。



PFOSSによる影響や安全性、基地問題などに対する
計13件の意見・要望がありました。



交通安全対策や悪臭の環境問題などに対する
計21件の意見・要望がありました。



交通安全、防災対策や空き家問題などに対する
計23件の意見・要望がありました。



高齢者の交通安全対策や町道の整備などに対する
計19件の意見・要望がありました。

令和元年11月18日から28日までの日程で、議会と区民との懇談会を6行政区の自治会事務所で行いました。
2部構成で実施した懇談会では、第一部の議会活動報告会として「環境対策調査特別委員会」の設置目的及び活動内容の報告を行いました。

第二部では区民との懇談を行いました。各区の区民からは、様々な意見や要望があり、活発な懇談会となりました。
現在、皆様よりご提言頂いた意見や要望については、各所管委員会で調査を実施しています。



防犯カメラ設置や公共駐車場の問題などに対する
計14件の意見・要望がありました。



観光振興計画や動物の糞尿問題などに対する
計15件の意見・要望がありました。

議会と区民との懇談会を開催！

町政を問う

題字：石嶺 邦雄 議員

當山 均	P 6
大麻等違法薬物乱用防止に関する取り組みを問う		
安森 盛雄	P 7
町の幼児・保育行政を問う		
花城 勝男	P 8
道の駅かでなに FMラジオサテライト局誘致を		
宇榮原 京一	P 9
空き家・空き地の現状を問う		
照屋 唯和男	P 10
コミュニティセンター建設計画を問う		
古謝 友義	P 11
道の駅のリニューアルとイベントを問う		
田仲 康榮	P 12
嘉手納基地即応訓練への対応は		
仲村渠 兼栄	P 13
公共施設の防犯カメラ設置を問う		
志喜屋 孝也	P 14
地域おこし協力隊での町の活性化を問う		
知念 隆	P 15
タクシー利用助成事業の状況を問う		
石嶺 邦雄	P 16
町の人口対策は		
奥間 政秀	P 17
町駐車場の利用状況は		
田崎 博美	P 18
危険生物からの被害防止対策を		
新垣 貴人	P 19
兼久海浜公園リニューアル工事の状況は		
徳里 直樹	P 20
子どもの発達支援策の充実を		

15人の議員が一般質問



均山 当

大麻等違法薬物乱用防止に関する取り組みを問う

問 今年6月、本島で大麻を所持、譲り渡したとして高校生5人を含む少年・大学生ら10人が大麻取締法違反容疑で摘発されるショッキングな報道があつた。我々の身近にも違法薬物が蔓延し、青少年らにも迫つてているのではないかと強い危機感を抱いている。高校生を含め児童生徒に大麻等薬物に関する正しい知識を身に付けさせ危機意識を高める教育指導の徹底は急を要するが、町民及び地域社会と「青少年らの身近にも違法薬物が迫つている事態を深刻に受け止め強い危機感を共有する」ことも必要なことである。

については、警察・高校・保護者・青少年関係団体等と一体となり、違法薬物乱用防止に向けた取り組みは喫緊の課題と考えるが、町の見解を伺いたい。

答 P.T.A.や青少年関係団体等と十分連携し、日常的な情報交換や協議等による相互理解に基づく緊密な協力関係を築くことは、とても重要だと考えている。

12月開催の町生徒指導連絡会において、各学校やP.T.A.、関係団体と連携し、地域社会と一緒にって薬物乱用防止に取り組むため緊急メッセージを発信することを確認した。全世帯及び全ての町内企業にも配布する予定である。

問 さらなる施策の充実を

問 近年、東区・中央区では小売店が相次いで閉店し、住民は日常的な食料品や日用品の買い物に支障をきたしている。町社協の受託業務の一環として、週1回、移動販売店が東区においては屋良団地及び東区コミセンに巡回してきていたが、今年の旧盆頃からメインの移動販売店が休止しており、突然の休止に区民からは戸惑いの声と行政のさらなる施策の充実を求める声が聞こえてくる状況を踏まえ、次の質問を行う。

買い物困難地区解消に向けては、福祉的な視点だけでなく、

まちづくりの観点から町行政横断的にさらなる施策の充実に向け調査研究を重ね取り組むべきと考えるが、町長の見解は。

答 地域の小売店等に出店しているだけ、地域のつながりを作っていくことが重要な視点となつていている。

問 会計年度任用職員の勤務体系に対する町の方針を問う。

答 制度上、一般職の非常勤として定義されるため、常勤職員、現在、タクシーチケット実証実験中だが、地域が抱えている課題は色々な仕組みを絡めていかなければ、一つの取り組みでは解決できないだろうと考えている。

現在、タクシーチケット実証実験中だが、地域が抱えている課題は色々な仕組みを絡めていかなければ、一つの取り組みでは解決できないだろうと考えている。

よつて、継続してどのような形での買い物支援等に取り組んでいくのか、多様な小売店や大手民間業者の協力も基本に据えつつ、引き続き調査研究に頑張っていきたい。

問 日常的な食料品や日用品を販売する大手民間業者等に移動販売車を貸与し「(仮称)町内移動販売巡回事業契約」を締結する等の手法を用いて、巡回する頻度場所を増設し買い物困難地区解消に取り組むことを提案する。

答 地域の要望をお伺いし、大手民間業者等の交渉を踏まえ、充実させていく方向で検討したい。

問 会計年度任用職員制度移行に伴う「パートタイム勤務」での採用方針について

答 いわゆる正職員と任用形態の区分を明確にし、事務分掌を整理するため会計年度任用職員は原則として7時間勤務とする方針。現在、教育・福祉部署に配置している専門資格を持つ嘱託員は、これからも他自治体との取り合いになるのではないか。

専門的知識を持つ優秀な嘱託員を確保するためにも、嘱託員はフルタイム任用職員に充てて、退職金を付与するなど待遇改善を図るべきではないか。

町民の福祉・サービス向上につながると思うが見解は。

現状では、特に事務補助、専門職で時間の区別をする必要はないと考える。

問 日常的な食料品や日用品を販売する大手民間業者等に移動販売車を貸与し「(仮称)町内移動販売巡回事業契約」を締結する等の手法を用いて、巡回する頻度場所を増設し買い物困難地区解消に取り組むことを提案する。

答 地域の要望をお伺いし、大手民間業者等の交渉を踏まえ、充実させていく方向で検討したい。



安森 盛雄

費からの購入も可能があるので、補助メニュー等の活用を促しながら設置の周知を図つていきたと考える。

問 小規模保育園でのAEDの設置状況は。

答 3か所とも未設置である。

問 今後、小規模保育園に設置の考え方は。

答 小規模保育施設についても町の認可保育所であるので、認可保育所と同様に運営費的な地域型保育施設の費用を支払つていいので、その中で設置が可能だと考える。

問 認可・認可外問わず防犯カメラの設置状況と未設置の園に対して、要望があれば補助事業で設置が可能か。

答 全14施設中、設置ありが8施設、未設置が6施設。防犯カメラにおいても認可外も含めて、国・県の補助メニューを活用して可能であることから周知を図つていきたい。

問 AEDの設置ができないか。

答 補助なしでも施設の判断で設置している園もあるのも事実である。しかし、議員がおっしゃるとおり確かに必要性が高いものと考えるので、認可外においては、現在ある町の補助メニューを活用しての設置が可能である。認可保育園においては運営

方針を決定した。

問 今年始め頃に、中部管内で大麻に関する事案がマスコミ等で報道された。この事案に対する教育委員会の見解は。

答 早い時期から薬物乱用の恐ろしさについて正しい知識を身につけさせることが重要だと考える。これまでの各小中学校で実施してきた薬物乱用防止教室のあり方を見直すと共に、飲酒・喫煙防止に加え、大麻等の薬物乱用防止に重点を置いた教育を推進していくたいと考える。

問 薬物事犯者対象者の推移

	平成29年		平成30年		令和元年(平成31年)	
	総数	内少年の人数	総数	内少年の人数	総数	内少年の人数
覚せい剤	56	2	57	4	79	2
大 麻	16	6	18	8	28	13
毒劇物	8	7	9	6	6	3
薬物事犯者合計	80	15	84	18	113	18
取扱件数	1166	800	1066	677	926	550

*県内の薬物事犯対象者の推移

道路環境を問う

問 瑞銀前の道路の改良進捗は。

答 平成31年3月定例会にて「新町通りとロータリー線の瑞銀前交差点部分の車道幅を拡幅し、

問 瑞銀前の道路の改良進捗は。

答 車両の出入りを通過しやすいよう改良していくないと考えて

いる。停止線の位置の変更や交通標識、照明等の設置個所の変更などを行っていく予定である。

問 新町通りの名称看板の進捗は。

答 年明け以降実施をしていきたい

がある。新たにこの制度にも対応でき

るものを再度検討していかなければならぬものと考へる。

問 新町通りの名称看板の進捗は。

答 歩道の幅員が狭くなる可能性がある。新たにこの制度にも対応でき

るものと考へる。

問 新町通りの名称看板の進捗は。

答 歩道の幅員が狭くなる可能性がある。新たにこの制度にも対応でき

るものと考へる。

問 教育環境を問う

がある。新たにこの制度にも対応でき

るものと考へる。

問 教育環境を問う

がある。新たにこの制度にも対応でき

るものと考へる。

問 教育環境を問う

がある。新たにこの制度にも対応でき

町に考えを聞く!! 一般質問



花城 勝男

自治会のテレビに接続し、動画配信の受信が可能か。

自宅や自治会でもテレビで映像の受信は可能。

2021年度リニューアルする道の駅かでなにコミュニティFMラジオサテライト局の誘致は可能か。

新施設では10平米程度の規模の新テナントを公募する予定。基本的に飲食テナントを想定のため、誘致は現在考えていな

い。道の駅にある必要性や、ど

うな運営ができるのか、運営者より具体的な提案を頂いた上で議論すべきと考える。

問 中学生現物給付実施に伴う、メリットとデメリットは。

答 メリットは、窓口保険診療に係る利用者一部負担額（2か月後戻し）が、病院窓口自己負担なしになる。デメリットは医療費の増加が予想される。

問 令和2年4月より、中学生までの現物給付（病院窓口自己負担なし）の実施ができないか。

答 未就学児は、平成30年10月より現物給付を導入。中学3年生までに關しては、国、県の方針を確認し検討する予定。

問 令和2年4月より、高校生までの医療費助成事業の実施を。

答 高校生までの医療費助成事業の実施は考えていない。中学生までの医療費助成を継続保証することが最良だと考える。

こども医療費助成事業を問う

るために設置。使用状況は、平成30年度に町内各種団体が7回程度、今年度は2回程度。

問 平成31年4月の読谷村パークゴルフ場オープン、北谷町では

ゴルフ場の計画があるが、嘉手

納町としてパークゴルフ場整備

の可否方針を決定しては。

答 現在の利用状況では、必要性について判断できず、保育園、幼稚園の遠足、他にストレッチの場として利用され、レクゴルフ以外で幅広く活用されている現状もあることから、パークゴルフ専用施設の整備については慎重に検討する必要がある。

パークゴルフ事業を問う

問 スポーツドーム北側多目的広場に、仮設に9ホールのレクゴルフ場が設置されているが、設

營の目的と使用状況は。

答 パークゴルフ場設置に向けて町民のニーズ、関心度を伺い、本町においての必要性を検討す



FMニライ放送風景



読谷村パークゴルフ場風景

問 インターネット環境が整えば、スマホ、パソコンから自宅や各観光情報等を配信。

答 FMニライの動画内容は、北谷町産業まつり生放送の配信やラジオ番組収録時の様子等の動画を配信。読谷村では、動画で地域のニュース、イベント情報、

動画配信の使用内容は。

答 FMニライの動画内容は、北谷町産業まつり生放送の配信やラジオ番組収録時の様子等の動画を配信。読谷村では、動画で地域のニュース、イベント情報、



宇榮原 京一

空き家・空き地の現状を問う

問 町民は、町域の約82%を米軍基地に接收され狭隘な地域での生活を余儀なくされている。そのため新たな住宅地の確保が難しく2世代の若者や嘉手納に住みいけど土地がない等の嘆きがある。また、老朽化した空き家は防犯、防災、衛生面からも問題が山積する。空き家問題の解消、空き地の有効活用等が図れないか、まず空き家の件数は。

答 町住環境整備調査業務で82件。

問 老朽危険空き家の件数は。

答 10件（活用困難で危険あり）

問 空き家に関する相談状況は。

答 過去5年間で18件。

問 空き家解消施策と実績は。

答 空き家解消の目的施策はない。

問 定住促進事業による効果と実績は。

答 空き家解消につながることが期待できる定住促進事業で2棟。



放置された空き家は、雑草がのび老朽化し倒壊の恐れがある



利活用が求められる防衛省の買い上げた用地

キャリア教育について問う

キャリア教育の意義とは。

答 勤労観・職業観を形成確立しそれぞれが直面する様々な課題に対応する力を高めるため。

小中学校の取り組み状況は。

答 小学校では、将来の夢を掲示、職業体験活動、校長講話等。中学校では、高校教師による学校の紹介や本校卒業生から学ぶ会、また職場体験学習などを実施。

キャリア教育の効果として。

問 空き家等実態調査の結果を踏まえた今後の対策は。

答 関係機関との情報共有を図り、空き家の活用や適正管理について情報提供を行う。

問 町長の防衛、外務省要請行動時に、国が買い上げたこの土地を町に払い下げの交渉は可能か。

答 払い下げの可能性はあると思う。防衛省の土地の活用等については積極的に考えたい。

問 課題と今後の方針は。

答 文科省は、児童生徒が活動を記録し蓄積する教材としてキャリア・パスポートを例示し、その実践が課題。今後は本町の自然、歴史、文化、まちづくりなどを教材にして、総合的な学習の時間を中心に、ふるさとキャリア教育を推進していく。

若年妊娠婦支援について問う

若年で予期せぬ妊娠をした女性は、妊娠したことを周囲に相談できない、パートナーや家族から経済面を含めた支援が得られないなど、ハイリスク出産を迎えるケースも少なくない。本町の若年妊娠婦に対する相談や支援等について対応を伺う。

答 誰にも知られず相談ができる事業を沖縄県女性健康支援センターが実施している。また、おきなわ子ども未来ネットワークでは「若年にんしんSOS」という事業も実施しており、これらの機関と連携をとりながら、

若年妊娠婦への支援を行つてていきたい。



照屋 唯和男

コミュニケーションセンター

建設設計画を問う

問 建設地決定の期限、最有力候補地は。

答 特定地域特別振興事業基本計画委託業務を実施しており、本年度末の計画完了を予定、今年の12月中を期限。町軍用地等地主会館用地を最有力候補地、次点に行政センター駐車場北側用地と決定。

役場エントランスホールで行われる各種イベント、受付窓口など当コミュニケーションセンターを利用することにより施設の利便性向上が図れる。

問 どのような施設のつくりを想定しているか。

答 1階に小規模多機能多目的ホール200名程度の収容。2階

に中飛行場関係資料展示室、会議室、3階に町民が利用できるシェアオフィスを検討。
問 建設計画の目的、必要性は。
答 期成会会員及び町民の活動に資する施設と共に期成会の活動をまとめ展示紹介する施設。

公共施設等の修繕対応の迅速化を

問 修繕修理に要する日数が長いと思われたのは、どのように判断して修繕修理の指示を出していくのか。公共施設の場合は、予算面や業者選定等に時間がかかるのか。民間との比較は。

答 計画性のあるものと緊急性があるものと分けられる。
指定管理者制度の協定の範囲でできる分は指定管理者が修繕し、緊急性がある場合は、各課から状況を報告され、企画財政課で公共施設の修繕は、予算がなく緊急性が高い場合は流用、充用を行い、緊急性が低い場合で大規模修繕要する場合は、補正予算計上を行い発注するため時間を要する。民間企業は自費により修繕を行うため早期対応が可能かと考える。

問 町民から直してくれというよ

うな要望はあるが、企画財政課へ直接声が届かず放置されているのがあるか。
答 過去にはあつたかもしない。原課から相談がないと承知できない。

うな要望はあるが、企画財政課へ直接声が届かず放置されているのがあるか。
答 特別に専用施設として建設するか踏み込めない状況。

答 特別に専用施設として建設するか踏み込めない状況。

嘉手納町多目的広場の利用状況は

問 嘉手納ドーム裏の多目的広場に仮計画のパークゴルフ場施設の利用状況は。また、町民への周知は。

答 各種団体が平成30年度に7回、今年度2回の利用。自治会長会を通じて各種団体等へ周知。
問 減少していくような利用頻度、

パークゴルフ場として必要か判断を担当課はどう考えるか。

答 軽食等の支援を居場所づくりの補助メニューで無料塾の子たちへサポートする方法がないか。
答 無料塾に行き話し合い、困り感がどういったことがあるのか確認していきたい。



ドーム北側の広場



古謝 友義

道の駅のリニューアルとイベントを問う

工事中の重機の音が飛行機の爆音以上であつた。担当課として配慮していたか。

答 週末市は、指定管理者の自主事業であり、工事スケジュールは事前に伝えている。

嘉手納町の産業まつりが、12月に開催された。年に2回やる意図は何か。

答 年度に1回開催している。

工事中の道の駅でやる必要があつたのか。

答 観光拠点の活性化を目的としている。

工事中、既存のテナント業者は営業できるのか。

答 現場へ看板の設置、近隣住民へはビラを配布した。

工事中、既存のテナント業者は営業できるのか。

答 通常通り営業を行つてはいる。

何年後に完成予定か。

答 令和4年度から供用開始を予定している。

観光客の減少が考えられるが、対策は考えているか。

答 来場客数が大幅に減少することは考えていないため対策はしていない。

議会の議決を要しない工事等については、議会に報告がないが、それでいいのか。

答 議会の議決を要しない工事については、報告していない。

11月の週末市が開催されたが、



リニューアル中の道の駅かでな

ふるさと納税について問う

平成30年度はふるさと納税が1億円を超えたが、一般寄付金は何に使われたか。

答 平成30年度の寄付金は、1億275万円となり、年々増加している。

寄附金の使い道は、寄付した

方が①福祉、保健、子育て支援
②人材育成、文化振興、平和行政
③産業、地域の活性化④安全なまちづくり、環境美化⑤指定なしの5項目から選べる。

野國總管商品券のプレミアム

を、ふるさと納税を利用して、現行より上乗せできないか。

答 寄付者の理解が得られれば、可能だと考えるが、実施可能か判断する必要がある。

問 納税額で返礼品に基準があるのか。

答 返礼品の割合は、3割以下と義務付けられている。

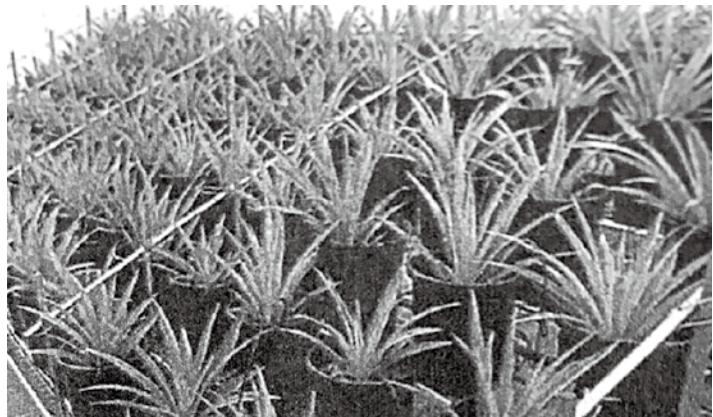
問 返礼品は、町内から調達しているか。

答 返礼品は、沖縄そばや漆喰シーサーなど、現在の総数は42品目。

すべて町内の事業所が調達している。

問 農産物の返礼品は、何種類あるか。

答 返礼品のうち、農産物の返礼品は、14品目。



町内農産物の優良特産品への活用を図れ

問 優良特産品は、返礼品に入っているか。

答 優良特産品は、嘉手納町内における特産品を推奨することにより、その需要の拡大及び品質の向上を図り、特産品の販路開拓に資することを目的に認定しているところであるが、現在、優良特産品の返礼品は、4項目入つていて。

問 農産物の返礼品は、何種類あるか。

答 農産物のうち、農産物の返礼品は、14品目。



田仲康榮

嘉手納基地 即応訓練への対応は

問 即応訓練は嘉手納基地が仮想

敵国から攻撃を受けたときに、基地防衛のため配備部隊や外来機も含めた戦時体制を想定した部隊展開である。同訓練は年数回実施されており、同訓練による町民への爆音被害、生活破壊は計り知れない。同訓練は中止させるべきだ。10月21日から23日までの爆音の実態はどうか。町広報マイクでは訓練の実施のみ流しており、町民の反対の意思を明確にすべきだ。

答 即応訓練は、平成29年度4回、平成30年度3回、令和元年度は11月末現在で2回実施。屋良局で22日、97.2デシベルが最高。21・23日滑走路の上空での急上昇すごい音が鳴っている。即応訓練時の騒音が群を抜いて突出しているかと、今の分析で

は把握できない。3日間の町民からの苦情は1件だけである。

災害時に 「福祉避難所」の設置を

問 障がい者が当たり前に暮らせる社会のために災害時に高齢者や障がい者等に適切な支援が受けられるることは極めて重要であるが、障がい者を支援する「福祉避難所」は設置されているか。

答 「福祉避難所」の指定要件や設置の所管はどこか。これまでの実態はどうか。

答 指定目標は各地方公共団体が定める。現時点では指定はされていない。設置については福祉課と連携し取り組みを進めている。指定後の主幹は総務課。各区自治会事務所等14施設が要援護者優先避難所とされている。

答 平成29年にアンケートを実施、地域福祉交通に関する課題の抽出、整理、検討会議を開催。30年に先進地視察。検討の結果、タクシーチケット利用助成を選択。経費は小型バスの運行で車両購入費約1800万円、年間運行費1台1000万円となる。

答 平成29年にアンケートを実施、地域福祉交通に関する課題の抽出、整理、検討会議を開催。30年に先進地視察。検討の結果、タクシーチケット利用助成を選択。経費は小型バスの運行で車両購入費約1800万円、年間運行費1台1000万円となる。

本町内では湧水から2100ナノグラム等地下水、河川の濃度も高い。

米国内では汚染被害に対し、州独自に厳しい基準を設定、国防総省も本国内の基地の調査方針を明確にしている。

有害有機フッ素化合物への 対策強化を

問 比謝川など嘉手納基地周辺の河川や本町内の湧水や地下水が

有害有機フッ素化合物PFOS（ピーホス）、PFDA（ピーホア）で汚染されている問題は、町民や県民に大きな不安と怒りを呼んでいる。



高濃度でPFASが検出された屋良のヒーヤーガー(湧水)

答 調査実施は町内全域で拝所が7か所、井戸の設置や地下水ポンプアップ器具を設置している家庭が70か所で、計77か所を確認している。地下水排出箇所を1か所、11月に確認。6、7月実施の町独自の調査は、県による取水調査と地下水の使用状況の把握を目的としている。飲料用水の使用はなかつた。畑などの農業用水については言及なし。

答 健康影響調査の意義が明確でないでの実施の予定はない。基地内立ち入りは県に協力したい。

町内コミュニティバスの運行を

問 高齢者、足の不自由な町民、障がい者等交通弱者にとって町内コミュニティバスの運行は切実な要求となっている。県内市町村でも公共交通の運行を進め、自治体が出ている。本町でも運行を検討すべきでは。町の対応、方針、実施財源はどうか。



仲村渠 兼 栄

公共施設の防犯カメラ 設置を問う

3台。南区2台。西区2台。西浜区建設中。
なぜ中央区は1台か。
答 各区2台の計画で設置した。
中央区については要望等があれば設置可能。



公共施設へ防犯カメラの設置を

- 問 防犯カメラ設置の公共施設「管理責任者」は（施設ごとに）。**
答 各設置箇所に管理者1人を配置している。
- 問 屋良小学校の防犯カメラ設置場所は。**
答 現在カメラの設置はない。
- 問 屋良小の校舎完成後の防犯カメラの設置は。**
答 新規に5台設置予定。
- 問 嘉手納小学校の防犯カメラの設置と増設の予定は。**
答 現在5台設置。新規で1台予定している。
- 問 嘉手納中学校の防犯カメラ設置と増設の予定は。**
答 今後、新規に設置予定。
- 問 各区自治会事務所の防犯カメラ設置状況は。**
答 東区2台。中央区1台。北区

- 問 屋良・嘉手納児童館への防犯カメラ設置状況は。**
答 屋良児童館4台。嘉手納児童館6台。
- 問 公園の防犯カメラ設置状況と設置箇所は。**
答 あしひな公園1台。ちびっこ広場1台。嘉手納児童公園1台。水釜公園2台。
- 問 ロータリー広場への防犯カメラ設置状況と設置箇所は。**
答 口一タリーアー広場2台。

- 問 町役場の防犯カメラ設置状況と設置箇所は。**
答 東側玄関1台。エントランスホール2台。
- 問 平成30年から令和元年11月末までのカメラ設置の要請は。**
答 嘉手納中学校、北区自治会、かでな振興より増設の要望があった。
- 問 新規設置の予定は。**
答 嘉手納中学校、兼久海浜公園、屋良ふれあいパークへ新規予定。
- 問 屋良小学校の机・椅子の減価償却と耐用年数を問う**

- 問 生徒の机・椅子の耐用年数と減価償却は。**
答 耐用年数15年。少額資産であるため減価償却等の資産管理は行っていない。
- 問 教職員の椅子、机（鍵が破損、紛失等）の耐用年数と減価償却は。**
答 耐用年数15年を経過。減価償却は行っていない。破損等は把握しているが使用できると判断している。
- 問 今後のその対応と方向性は。**
答 生徒の机・椅子については、状況をみて複数年かけて対応したい。

- 問 台風被害後の側溝管理は**
- 問 今年度の側溝清掃箇所は。**
答 5か所。
- 問 台風被害後（道路浸水）の側溝の把握は。**
答 町道3路線に被害がある。
- 問 台風被害であれば県の予算対応は可能か。**
答 県と協議を行う予定。
- 問 新年度予算化する予定は。**
答 予算計上を予定している。



英語検定助成の拡充を

英語検定料助成の拡充を

生活困窮家庭等の助成の予定は。また、調査研究等を行い、総合的に判断し助成拡充に対する結論を出したい。



志喜屋 孝也

援等の地域活動に従事してもらい、任期終了後は同じ地域で定住して人口増加につながる可能性がある。デメリットは1年から3年以下の期間、地域で生活した結果、定住することなく帰省するケースがある。

護者へ周知している。

大小公共施設での火災防止対策は

スプリンクラー等・火災報知機の設置は。

答 37施設のうちスプリンクラーは4施設。火災報知機34施設。設置されていないのは、葬斎場、漁業用施設、加工センターの3施設。

消火器設備の設置と期限管理は。

答 37施設のうち、36施設で設置。期限管理は35施設で実施。

施設の年間消防検査の数は。

答 37施設中33施設で実施。

火災保険の内容と、期限管理は。

答 75の物件が全国自治協会建物火災共済へ加入、1年ごとの更新、新規追加更新申請実施。

施設の避難訓練は。

答 年間訓練は18施設が実施。訓練なしは19施設。検討が必要。

ゴミ袋の一元化を問う

新しいゴミ袋の実施は。

答 12月よりU字方式に変更。

読谷村との一元化はできないか。

答 町村の条例や広告を記載等取扱いに違いがあるが協議する。コストの削減・利便性等の考えは。

答 町村で同じゴミ袋の使用できる点、読谷村の方が嘉手納町にゴミ袋を出してしまう事も考えられ、一概に判断は難しい。発注が多くれば、単価は下がる。

新町通りのアーチ看板の進捗状況は

新町通りのアーチ看板の進捗状況を伺う。

答 看板設置が可能な位置の検証資料を検討、琉銀側の歩道が狭くなると懸念されるため、どの

ような形状がよいか検討中。再度意見を聴取する場が必要。



アーケード看板のイメージ図

問 地域おこし協力隊での活性化を問う

答 人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域活動を行ってもらい定住や定着を図ることで地域力の維持、強化を図ることを目的とした制度だが、本町が考える地域おこし協力隊とは。

答 地方自治体が都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊として委嘱し、地域の産業振興に寄与し、地域活動に従事して地域への定住、定着を意欲的、積極的に取り組むことを想定している。

問 本町での募集と活動内容は。

答 募集及び活動の実績はない。

問 地域おこし協力隊のメリットとデメリットは。

答 地方自治体の委嘱を受け、地域で生活し、農林業の応援、水源保全、監視活動、住民生活支援等の学習は。

答 学校がハブの目撃情報を把握した場合、時間や場所について児童生徒に注意喚起を行い、保



隆 知念

となつてゐる。

問 利用枚数を月6枚に、1枚あたりの助成金額を500円にできなないか。

答 実証実験の集計分析を踏まえ本格稼働に向けて検討をしていただきたい。

問 福祉交通の手段として今年7月からタクシー料金助成事業の実証実験が行われたが、結果の状況について、助成券の利用人數と利用枚数の実績は。

答 利用人数は88名、利用枚数は1204枚。

問 利用者からどのような要望が出されているか。

答 助成券の枚数が少なかつたとの声が多数寄せられている。

問 助成の対象者を70歳以上まで拡大できないか。

答 実証実験の集計分析を踏まえ本格稼働に向けて検討していくたい。

問 年齢を70歳以上にした場合の対象者数は。

答 70歳以上の方は2334名で、そのうち非課税者は1491名



福祉交通として利用されるタクシー

本町における不登校の状況と対策を問う

問 現在、不登校の児童生徒は何人いるか。

答 屋良小学校が2名、嘉手納小学校が2名、嘉手納中学校が9名になつてゐる。

問 不登校のうち、青少年センターに通う児童生徒の人数は。

答 小学生が3名、中学生が2名、合計5名くなつてゐる。

答 現在の64戸から90戸へ26戸増

タクシー利用助成事業の状況を問う

問 福祉交通の手段として今年7月からタクシー料金助成事業の実証実験が行われたが、結果の状況について、助成券の利用人數と利用枚数の実績は。

答 利用人数は88名、利用枚数は1204枚。

問 利用者からどのような要望が出されているか。

答 助成券の枚数が少なかつたとの声が多数寄せられている。

問 助成の対象者を70歳以上まで拡大できないか。

答 実証実験の集計分析を踏まえ本格稼働に向けて検討していくたい。

問 年齢を70歳以上にした場合の対象者数は。

答 70歳以上の方は2334名で、そのうち非課税者は1491名

水釜第二団地建て替えの状況を伺う

問 水釜第二団地の老朽化が進む中、建て替えが決定したこととは住民には朗報である。改築により一層住みよい環境になるよう次の点を伺う。建て替えのタイミングスケジュールは。

答 平成30年度に基本設計を終え、今年度は実施設計を行つてゐる。

問 住民の声を反映するような説明会は持たれているか。

答 住民説明会を2回、アンケート調査を2回行つており、その中で間取りや高齢者の対応などの要望を聞いてゐる。

問 高層化により利用できる敷地は広くなるが、駐車場は何台の予定か。

答 現在の64戸から90戸へ26戸増

問 不登校の児童生徒に寄り添う訪問支援の状況は。

答 不登校の生徒や長期欠席者の早期支援の充実を図るために、校へ生徒指導補助員を2名配置している。また子ども支援コーディネーターを2名配置し、学校や家庭、関係機関との連携を図りながら登校支援、居場所づくりを行つてゐる。

えるので、駐車場は入居者用として90台、身障者用として2台、施設管理用に2台程度の整備を予定してゐる。

問 共益費の設定は。

答 エレベーターに係る電気料など、支出状況を参考にして設定するようアドバイスしていく。

問 建て替えにより広くなる団地の敷地内に、近隣住民も使用できる有料の公営駐車場設置ができるのか。

答 駐車場問題の解決に向けて今後、検討していくかなければならぬと思つてゐる。



建て替えされる水釜第二団地

答過去、14000人以上であった人口は、平成に入り1400人を割り始め、微増減が続いている。世帯数に関しては人口の減少に反して、増加の傾向にあり、核家族化が進行している。

昭和の後半から平成の後半を比較すると、人口で約400人減少する一方、世帯数に関しては、約1400世帯の増加などっているが、人口対策で取り組んでいる政策は。

答ハード面で定住促進事業、住宅リフォーム支援事業などを、医療面で子ども医療費助成制度、子どもフツ化物塗布助成、教育面で教材費の一部助成、給食費化促進を図っている。

問過去、14000人以上であった人口は、平成に入り1400人を割り始め、微増減が続いている。世帯数に関しては人口の減少に反して、増加の傾向にあり、核家族化が進行している。

町の人口対策は



石嶺 邦雄

答10月末を基準に、平成27年が13780人。平成29年が13744人。平成30年が13690人。令和元年が13538人。

問3月末の転入・転出は多いと思うが、平成31年の前月との比較が町の広報を見る限りで、マイナス73名となっているが、内容を把握しているか。

答推定でしか判断できないが、進学、あるいは就職による要因が高いと考えられる。

問取り組みによる人口増減の検証はされているのか。

また、転出する場合にアンケートなどで、転出理由を把握できなか。

答年齢別、行政区分で数字的なものは把握しているが、転出する内容まではデータがなく、分析に至っていない。

転入・転出を届け出る際の様式は決まっており、また、プレイヤーシーの問題もあるので、アンケートが盛り込めるかは慎重に検討したい。

問兼久海浜公園や野球場のリニューアルは予定されているが、陸上競技場のリニューアルも検討すべきでは。

答平成7年に供用開始し、平成21年度に大規模な改修が行われたが、その後10年が経過しているので、今後、計画的な改修等の必要性は認識している。

問管理する側のかでな振興からの要望などはないか。

答観客スタンンドの屋根の設置、洋式トイレの増設、芝の張り替え等の要望がある。

問体育施設に関する町民アンケートなどは確認しているか。

答体育施設に関するアンケートは指定管理者においてまとめており、こちらから定期的に確認を行っている。

問現在の芝生の種類は把握しているか。

答現在、陸上競技場の芝生は日本芝の高麗芝を使用している。

県内各市町村は高麗芝から西洋芝のティフトン芝が近年は好まれているようである。

これまでに芝の全面張り替えは行つたことがなく、管理は指定期管理において芝刈り、施肥管理、エアレーション、害虫駆除、不陸整正等を行い管理している。現在、芝の張り替え予定はないが、供用開始から24年程度経過し、状態が悪い箇所もあるため、部分的な対応で調整できるのか、調査が必要と考えている。全面張り替えには多額な予算が伴うので、今後活用できる助成金等がないか、調査研究する。



施設充実のための再整備を



奥間政秀

町駐車場の利用状況は

問 文化センターや中央公民館でイベントが開催する際に常に満車状態で駐車ができないとの声が多いがその対応について問う。

答 特に平成29年8月に多くの苦情が寄せられ、来庁者の皆様にご迷惑をおかけしたが、現在、主催者に対し、駐車場係を配置すること、行政センター以外の駐車場の利用等を促している。

その効果で現在、総務課、社会教育課の方へ苦情は上がっていない。

問 行政センター駐車場に立体駐車場を建設してはどうか。

答 今後庁舎建替等が計画の際、仮庁舎候補地として挙げられているため、立体駐車場の建設は想定していない。

問 行政センター新町第1・第2駐車場は常に満車状態である。

周辺住民、事業者等を対象とした駐車場利用に関する調査の実施と結果は。

答 5月27日に利用者の動向調査を実施し、その結果、沖縄防衛局職員及び嘉手納警察署署員と思われる駐車が確認されたため、それぞれに対し職員の駐車を慎むよう申し出を行つた。

また、9月に商工会と新町第1・第2駐車場の利用状況について聞き取り調査を行つた際、利用者の実態や駐車場を増設して欲しいという意見があつた。今後も意見交換会を行い、対応、対策を考えていきたい。

近隣を含めた、事業者、民間住民の方々へのアンケート調査は、未だ実施していない。

高齢者支援事業の充実を

問 地域福祉交通導入事業の結果と今後の対策は。

答 タクシー利用助成事業は、高齢者のみの世帯900名の中から、ご自分で運転ができる方を除いた500名の対象者に対し360万円の予算を組み実施したが、最終的な利用者は88名であった。

問 GOGOフェスティバルの状況は。

答 平成29年度来場者は673名、平成30年度来場者は565名。各年とも食事関係は完売、飲料に関しては大好評と伺っている。町の優良特産品に指定している店舗の出店もあり、町のPR、経済効果をもたらしたものと考

今後、申請者が少ない理由を精査し、詳細について分析を行いたい。

問 コミュニティバス（ワンボックスタイル）を導入する考えはないか。また、町内の交通事業者等との情報交換は行っているか。

答 コミュニティバスの導入は考えておらず、町内事業者との情報交換は行っていない。

問 高齢者による自動車の重大事故が多発しているが、対応策として、誤発進を防ぐ抑制防止装置設置費用の補助が行えないか。

答 国の方でも12月補正予算案に計上しており、本町の対策として先行自治体の情報等を収集し調査研究をしていきたい。

文化センター活用のさらなる推進を

問 GOGOフェスティバルの状況は。



文化センターの活用推進を図れ

えている。
問 町主催での映画上映会の開催は。

答 文化センターは平成27年バリアフリー工事、平成29年に舞台設備工事を終え、平成28年度文化センターリニューアル記念公演として「愛の小さな歴史」を上映した。今後の上映には配給先との調整等、課題があるが、町民の要望を聞きながら調査研究していきたい。

先との調整等、課題があるが、町民の要望を聞きながら調査研究していきたい。



田崎 博美

危険生物からの被害防止対策を

問 危険生物からの被害防止対策について、当該工事現場周辺の公衆災害防止のため、仮囲いや養生シートなど、事前にハブ捕獲器等の設置やネット囲い及び衛生害虫やネズミ等防除の衛生対策を講じなければならないと

いう規定が遵守されているか。

解体工事や標識設置及び資料収集等の状況に伴う有害生物の生息環境や移動の縮減を図る要綱は設置されているか。

答 ご指摘の拡散防止対策に関しては、嘉手納町においては、そのような要綱が設置されていないが、今後、先進事例、自治体を参考にし、その対策等を検討したい。

問 ハブ咬傷や蜂毒アレルギー性命に時短で危険をもたらす有害生物の出没や咬傷被害が出た時

の緊急通報体制を整えなければいけないが、その対策のあり方は。

答 今後、警察、消防、地域コミュニティーと緊密に情報連絡が取れるように、住民の安全につかりと寄つていけるように、情報収集、周知に向けて取り組んでいきたい。

問 ネズミ、ムカデ、アフリカマイマイ、シロアリ、ゴキブリ等の近隣への拡散防止の対策と手順はどうなっているか。

答 駆除等事務委託業者がいるので町民の方より連絡を受けた際には、環境衛生係も業者とともに現場へ行き、ネズミ取り器を設置及び駆除剤を散布したり、敷地内への侵入口を予測してフタを町民自らしてもらうようアドバイスなど、協議して対応している。今後はそれら衛生害虫等が周辺に拡散するのを縮減するための法整備も視野に検討していく。

には、環境衛生係も業者とともに現場へ行き、ネズミ取り器を設置及び駆除剤を散布したり、敷地内への侵入口を予測してフタを町民自らしてもらうようアドバイスなど、協議して対応している。今後はそれら衛生害虫等が周辺に拡散するのを縮減するための法整備も視野に検討していく。

避難が可能となるよう、避難経路の整備することも挙げられている。風水害や地震等の災害等の避難の緊急道路の確保について沿道のブロック塀や建物の耐震化への取り組みが図られているかと思うが、安全なまちづくりにとって、とても重要なつくる電柱への耐震対策とはどのようなになつてているか。

問 電柱の倒壊や断線による停電の財政上の支援策や低コスト工法の研究開発の進展を視野に、いかなる施策を持つて今後望むのか。

答 低コスト工法については、国土交通省において各種提言がなされているが、どのような工法が嘉手納町に適するかは、現在調査研究していかなければならぬと考へておる。なお地域住民が安心して生活できるよう無電柱化の推進を行つていただきたいと考えておる。

線の3路線で、その一部が無電柱化されている。また地中化されている配線距離は、508.5mである。無電柱化による電線供給場所の面積はロータリー内とサンエー地区の約335.39m²である。

NTTの電柱は傾斜0件、倒壊が1件あつた。

問 電柱の倒壊や断線による停電戸数及び停電日数、6自治会の被害状況は。

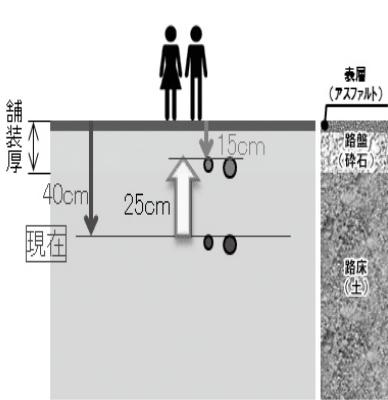
答 最多1100戸、個人世帯等の詳細は不明だが、町域で最も長時間停電していた時間は、9月29日の7時から10月2日の18時の55時間であつたと沖縄電力に確認している。

無電柱化への対応を問う

問 町では地震による津波や台風対策として緊急避難場所となる公共施設や備蓄倉庫の整備も概ね終了し、今後は迅速かつ安全

問 2018年に猛威を振るった台風24号の襲来によつて、町内の電柱は何本倒壊したか。

答 2018年の台風24号による電柱の傾斜、倒壊について沖縄電力及びNTTに確認したところ電柱の傾斜及び倒壊は0件、



電線地中化の模式図（国交省HPより）



転落防止柵が復旧された水釜護岸



新垣 貴人

高齢者タクシー利用助成 事業の状況は

問 交通弱者の高齢者を対象に、タクシー料金補助の実証実験を始めたが、利用実績は。

答 88人で配布数の82%が利用。どのような用途の利用か。

答 買物や通院。

問 実証実験の結果は。
答 取りまとめ作業中。

兼久海浜公園リニューアル 工事の状況は

問 兼久海浜公園は、町民の健康維持や余暇に活用されている公園だが、工事の進捗状況は。

答 施設整備の優先順位のまとめ作業を行っている。体育館施設や遊具広場等について町民全体の住民説明会を行う。

問 移動手段のない町民の交通手段として、コミュニティーバスを導入してはどうか。

問 水釜護岸工事の進捗状況は。
答 12月末に護岸の復旧工事は完了する。

子ども達の口腔内指導は

問 口腔環境は、子ども達の健全な成長や学力に影響を及ぼす。

答 口腔内の指導に、どのような指導が行われているのか。

要虫歯治療の子ども達の数は。
答 保育園は、計29人。幼稚園は、計46人。小学校は、計361人。中学校は、計205人。

問 口腔崩壊と診断された子ども達への対応は。

答 保護者へ電話連絡を行い、歯科医院での受診を促している。

問 学校で小中学生に、歯磨きを実施させるかは検討したい。

問 フッ化塗布の有用性に対する見解は。

答 虫歯の予防に大きな効果が期待できる。県内では嘉手納町だけが実施。今後も継続する。

道の駅かでなの現状は

問 観光振興の拠点となる道の駅かでのリニューアル工事は、現在どのような状況なのか。

答 屋良東部地区地域振興施設のリニューアル工事進捗状況は。

答 令和3年度までに工事完了し、4年度に供用開始の予定。

問 いもっち騒音測定器の修繕時期は。

答 工事完了後に、修繕を終えた状態で再設置する。

特定健診の受診状況は

問 生活習慣病は自覚症状がない



週末特定健診を受ける町民の方々

まま進行する。特定健診を毎年、受診し健康管理を行うことが大切だ。

問 目標受診率への取り組みは。
答 平成30年度は39%。
近の受診率は。

問 ナイト健診や結果説明会への取り組み状況は。

答 平日の日中に、受診が難しい方を対象に、午後5時半から7時半までナイト健診を実施。今後も継続する。

問 ナイト健診や結果説明会への取り組み状況は。

答 平日の日中に、受診が難しい方を対象に、午後5時半から7時半までナイト健診を実施。今後も継続する。

問 母子保健や福祉、教育の分野における支援施策の現状と課題は。

答 母子保健事業での関りを重ね、親子との信頼関係を築き、親子の困り感の軽減解消に向けて、関係機関との連携を図る。発達相談員等の常勤配置が困難となつております。タイムマリーな相談体制がとれていない現状である。人材の確保が課題と考える。

問 発達障害者支援法に基づき、母子保健や福祉、教育の分野における支援体制、また教育委員会や学校における特別支援教育の充実など、ライフステージに応じた切れ目のない子どもの発達支援施策の充実が求められているが、乳幼児期の発達支援についての支援施策の内容及び施策の現状と課題は。

答 母子保健事業での関りを重ね、親子との信頼関係を築き、親子の困り感の軽減解消に向けて、関係機関との連携を図る。

子どもの発達支援策の充実を



徳里直樹

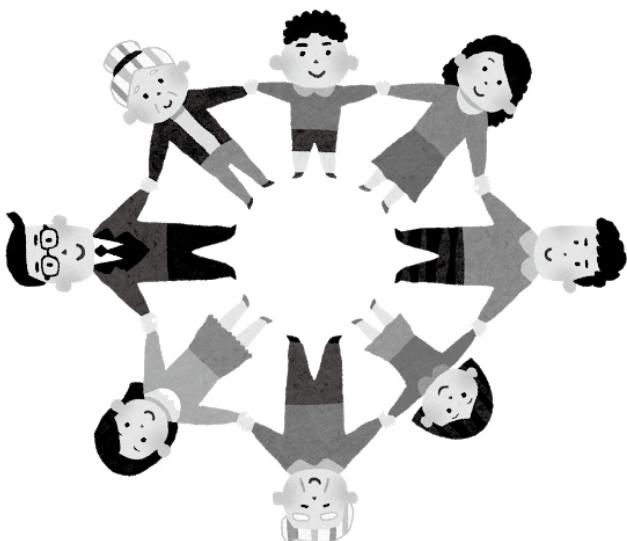
問 学齢期の発達支援について、支援施策の内容は。施策の現状、課題は。

答 学校経営計画に特別支援教育についての基本方針を示し、全教職員が協力し、組織的、計画的に推進しており、各学校には校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを中心に、通常の学級に在籍する障がいのある児童生徒の支援体制の充実に努めている。

教育委員会では、昨年度から嘉手納中学校に通級指導教室を設置し、通常の学級に在籍する

比較的軽度の障がいのある生徒に対し、状態に応じた特別な指導を行つていて。また各学校には教育サポートターを継続して配置し、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の生活や学習上の困難を改善・克服するための適切な支援を行つていて。

課題は、保護者の障がいに対する理解と偏見をなくすこと、個別の教育支援計画等を活用した子どものライフステージに応じた切れ目のない支援を充実させること。



子どもたちへ切れ目のない支援を

問 学校と家庭が同じ目線で理解へ取り組むペアレンットレーニングの導入は。

答 大変有効な支援策。学校現場でそれを取り入れた検証はまだ不十分なところがある。



支援事業の充実に向けた取り組みを

問 青年期の発達支援について、支援施策の内容及び施策の現状と課題は。

答 就労移行サービス、就労継続支援A、Bなどの就労支援や、生活訓練などの支援、また発達支援の当事者、ご家族に

対応するための相談支援事業も実施している。

問 国や県など就労支援事業としての連携は。

答 対応をしていきたい。

問 発達支援に関する本町の方針とは。

答 各ライフステージにおいて必要な支援を関係機関と連携し、地域支援ネットワークの構築に取り組んでいきたい。

問 発達支援に関する本町の方針とは。

答 各ライフステージにおいて必要な支援を関係機関と連携し、地域支援ネットワークの構築に取り組んでいきたい。

問 発達支援に関する本町の方針とは。

答 各ライフステージにおいて必要な支援を関係機関と連携し、地域支援ネットワークの構築に取り組んでいきたい。

問 発達支援に関する本町の方針とは。

答 各ライフステージにおいて必要な支援を関係機関と連携し、地域支援ネットワークの構築に取り組んでいきたい。

仲村一議員による酒気帯び運転事業【お詫び】

12月8日に、本町議会議員である仲村一議員が酒気帯び運転容疑で現行犯逮捕されたことについて、嘉手納町議会及び嘉手納町議会議員に対する町民の皆様の信頼を著しく損なうことであり、誠に遺憾であります。嘉手納町議会として、今回の事件を重く受け止め、深く反省し、町民の皆様にお詫び申し上げます。

再びこのような事件を引き起こすことがないように、自らの行動を厳しく律し、町民の皆様からの信頼回復に全力で努めてまいります。

令和元年12月 嘉手納町議会

仲村一議員に対する議員辞職勧告決議

令和元年12月8日、仲村一議員が、酒気帯び運転の道路交通法違反により現行犯逮捕された。

本町はもとより沖縄県をはじめ全国的に飲酒運転根絶の機運が高まっている中、現職議會議員が酒気帯び運転で逮捕されることは、断じて看過できない。

町民の厳粛なる負託を受け、自らの行動を厳しく律し、率先して規範を示さなければならぬ立場にある議會議員が、このような事態を引き起こしたことは由々しき事態である。

町民からも「飲酒運転は言語道断、議員としてあるまじき行為である。即刻辞めていただきたい。」との厳しい指摘が寄せられている。町民全体の奉仕者及び公共の利益の追求者として、自己の職責を自覚し、その職責にふさわしい人格及び倫理の向上に努めなければならない立場にある者が、このような事態を引き起こしながら、このまま議員職にとどまることは、町民の理解を得られるものではない。

現職議會議員が酒気帯び運転の容疑で現行犯逮捕されたという事実は、起訴・不起訴の如何によつて何ら変わることはなく、このような事実からしてもその責任は極めて重く、これを免れることはできない。

よつて、仲村一議員が今回の行為の社会的、道義的責任を真摯に受け止め、公人としての自らの責任を痛感し、速やかに議會議員を辞職することを求める。

以上、決議する。

飲酒運転根絶の誓約に関する決議

交通法規を遵守することは、私たち国民の義務であり、とりわけ飲酒運転は絶対に許してはならない行為である。近年全国各地で飲酒運転による重大な事故が相次いで報告されるなか、飲酒運転根絶は国民の悲願ともなっている。

本町議会は、議員の政治倫理の確立を図り、もつて町民に信頼される民主的な町政の発展に寄与することを目的とし、平成27年6月定例会において「嘉手納町議會議員政治倫理条例」を提案、可決し、自らの襟を正してきた。

しかしながら、12月8日に本町議會議員が酒気帯び運転の疑いで逮捕される重大な事件が発生したことは、町議会及び町議會議員に対する町民の信頼を著しく損なうことであり、誠に遺憾である。

今回の事件を重く受け止め深く反省するとともに、再びこのような事件を引き起こすことがないよう、自らの行動を厳しく律し、町民の信頼回復に全力を擧げる決意をもつて、改めて「飲酒運転の根絶」を図ることを全議員が誓約する。

以上、決議する。

辞職勧告決議とは？

議員の辞職を勧めることを内容とし、議会として意思表明することをいいます。

(議会としての意思決定であり、法的拘束力はありません。)

事業に関する議会の経緯

日 時 ・ 事 件
R 1 12・8 (日) 仲村一議員が、ロータリー付近において、酒気帯び運転容疑で現行犯逮捕される。

日 時 ・ 事 件
R 1 12・10 (火) 12月定例会冒頭に「飲酒運転根絶の誓約に関する決議」を仲村議員を除く全議員の署名で上程。全会一致で可決。

日 時 ・ 事 件
R 1 12・17 (火) 第1回委員会を開催。基本の方針と今後のスケジュールを検討。

日 時 ・ 事 件
R 1 12・24 (火) 第2回委員会を開催。県内飲酒運転検挙の実績、他自治体議會議員への処分の事例、沖縄県の一般公務員懲戒処分の指針を研究。委員の意見集約のうえ、委員会審査結果を決議した。

日 時 ・ 事 件
R 1 12・27 (金) 第36回臨時議会を開催。「嘉手納町議會議員の酒気帯び運転容疑による逮捕事案に関する調査の件」について、委員長より審査結果を報告。「仲村一議員に対する議員辞職勧告決議」を上程。全会一致で可決した。

議会広報研修会



研修を受ける議会広報特別委員

令和2年1月29日議会広報研修会が開催された。

講師は（熊本日日新聞社NIE専門委員・熊本大学客員教授）越地真一郎氏が「待ったなし・大胆な刷新へ真剣討議」持続可能な議会広報紙を目指して講演した。SDGs持続可能な開発目標は自治会・老人会・議会も同じ視点でわれわれの世界を変革するために存続の危機・未来を脅かす課題解決へ、「伝える」と「伝わる」とは、「自分は分かるから他人も分かる」ではなく相手が理解できたかが重要である。

議会広報誌も町民に「伝わる」内容に重点を置く変革を学んだ。

田仲議員、田崎議員が永年功労者表彰を受章



中央：永年表彰を受けた田仲康榮議員・田崎博美議員

令和元年11月13日に東京都で開催された、全国町村議会議長会創立70周年記念式典にて、70周年記念表彰が行われ、「町村議会議員として30年以上在職し功労のあつた者を特別表彰する」永年功労者として本町議会議員の田仲康榮議員、田崎博美議員のお二人が受章され、12月17日、嘉手納町議会議場にて徳里議長より伝達を行つた。

題字紹介

議会だより



嘉手納小学校6年　なな
な友　が嘉　ひ比

最初書いた時、「議会」の議のつくりが難しかつたのですが、どうぞ沢山練習しているうちに、うまく書けるようになります。良い経験になりました。

サークル紹介



サークル募集!!
サークル紹介コーナーへの掲載をご希望のサークルは、議会報調査特別委員会までご連絡ください。

お問い合わせ先
090-2505-7061

代表者・嘉手川まで。

「詩吟サークル珊瑚礁」

毎週金曜日、午後2時から4時まで中央公民館5階視聴覚室で開催。

詩吟は漢詩・和歌等に節をつけて複式で吟ずる事で健康を保ち、古今詩歌の詩文に触れて人格の陶冶を目指します。

